

ヒトメタニューモウイルスとRSウイルスを知っていますか??

どちらも冬から初夏にかけて流行しやすい呼吸器感染症

	流行時期	年齢と特徴	検査方法
ヒトメタ	春～初夏	2歳～5歳でも強く症状が出ることが多い	鼻腔検査
RS	冬～春	乳幼児中心で重症化しやすい	鼻腔検査

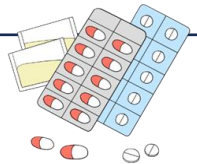
症状

- ・咳、鼻水、発熱
- ・喘鳴（ゼーゼー）
- ・呼吸困難



治療

- ・対症療法が中心
- ・症状緩和のために去痰薬や解熱薬を使用



大人が感染した場合どうなるの？

- ・症状は通常軽度で風邪に似た症状が現れる
- ・無症状のこともあります。高齢者や免疫力が低下している人、基礎疾患を持つ人では肺炎や呼吸困難など重症化するリスクがある

家庭でできる感染対策

- ①手洗い・手指消毒の徹底
- ②症状がある人と接触を減らす
 - ・可能な限りで距離を取り、マスクを着用する
- ③タオル・食器・飲み物などの共用を避ける
- ④よく触れるものを消毒する（ドアノブ、手すり、おもちゃ）
 - ・手指の消毒にはアルコール剤、物品消毒はアルコール剤や次亜塩素酸ナトリウム（キッチンハイター）が有効◎
- ⑤こまめな換気
- ⑥咳エチケット



感染経路

- ・飛沫感染や接触感染
- ・保育園や幼稚園、家庭内で集団感染を起こしやすい



こんな時には受診を

- ・呼吸が苦しそう
- ・ぐったりしている
- ・水分が摂れない
- ・ゼーゼーが強い
- ・高熱が続く

